

学力調査等の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの考えを表出させている。・教師が児童の発言を価値付けている。 ・児童が考えたことを共有している。 ・児童が本時の学習課題を理解したり、課題を解決したりしている。 	

見えてきた課題	
国語、算数ともに、記述式回答が苦手な傾向にある。自分の言葉で説明したり、理由を述べたりする問題の正答率が、東京都、全国よりも低かった。自分の考えを表現することに課題がある。	

授業をデザインする8つの取組について	
価値ある対話の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の提示の工夫。 ・児童に挑戦意欲を抱かせる、場の工夫。
ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が考えをもつ時間を設定する。 ・課題に対して、比較・検討・分類・統合・関連付けしながら、児童・生徒に多角的に捉えさせる。
振り返りの設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業作り ・個別最適な学びを保証するキュビナの活用

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○単元や本時のめあてを提示して、授業の終わりにはまとめと振り返りをする。 ○教材文や資料の提示では、ICT機器を活用し、より視覚的に有効な手立てを授業に取り入れていく。 ○ペア・グループ・全体など、様々な形態で伝える場を設定し自分の考えを明確にもち、広げたり、深めたりする力を高めていく。 ○自分の思いや考えを表現する力を高めるため、詩や日記など書く活動を定期的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・まとめのワークシートなどを複数種類用意して、自分ができそうなものを選択する。 ・新出漢字の指導や学習課題の進度に応じてキュビナやプリントを活用して学習する。 【協働的な学び】 ・隣の子とも同士で自分の考えを交流する。 ・友達が書いた文章を互いに読み合って、感想などを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・漢字学習や意味調べなど自身の課題に応じて、キュビナやノートを活用して学習内容を選択できるような、授業内で工夫する。 【協働的な学び】 ・ペアやグループでの考えを交流する活動を充実させていく。 ・グループ環境やCanvaを活用して互いの作品を読み合い、意見を交流する活動を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・ICT活用により個別学習の充実を図る。 ・個別に学習の仕方を選択し、自分なりのまとめ方を身に付けられるよう指導する。 【協働的な学び】 ・共同編集機能を活用して、意見をまとめたり、発表用の原稿を作成したりする。 ・ICTを活用して互いの作品を読み合い、自分なりの考えをグループで交流したり、質問をしたりする。
社会科	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味・関心をもち、主体的に取り組んでいけるように見通しがもてる導入の工夫を行う。 ○提示する資料の精選を行い、思考する時間の確保をする。 ○教材によって、個別進捗学習で学んだことの共有を通して、自身の学びを深め、見方を広げる活動を行う。 ○ICT機能を効果的に活用して、社会的事象等について調べまとめる技能を高める。 ○提示した観点に沿って学習の振り返りができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> (中学年からのスタートに向けて現時点で意識する指導の重点) ・各教科の学習の中で、様々な社会的事象について知ったり、自分の考えをもったりする時間を確保する。このような活動を積み重ねていき、外の世界に対する興味・関心を高め、自分なりのもの見方や考え方をもつ力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・身近な社会的事象について、社会科見学などのフィールドワークに加え、ICTやワークシートを活用することで、自分の生活との関連や課題を的確に捉えられる力を育成する。 【協働的な学び】 ・社会科見学やゲストティーチャーによる講義などの機会を捉えて、課題や疑問の抽出や単元のまとめにおけるスライド作成を、グループワークを通じて行うなど、多様な意見に触れる機会を設けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・自由進捗学習での学びが個人によって違うため、必要な知識を全体として定着させるための時間を指導計画に盛り込む。 【協働的な学び】 ・同じ事象に興味を抱いた児童同士で協働的に調べ学習を行うことで、より深い学びにつなげていく。
算数科	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用しながら、教材・教具を工夫し、児童が具体的な操作によって筋道を立てて考えられるようにしていく。 ○チャレンジする姿勢が見られるように、児童の発言や活動に対して個に応じたプラスの評価をし、褒めたり、認めたりしていながら指導法の工夫をしていく。 ○児童が多様な考えを導き出せる課題を用意するとともに、児童の考え方を共有する時間を十分に設けながら、よりよい方法を発見できるよう「協働的探究学習」を取り入れる。 ○既習事項の定着のために、キュビナなどを活用する。 ○授業の最後に1時間の学習の定着を図るために、確認問題等を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・授業進度に合わせて、学習が確実に定着するようプリントやキュビナでの復習を行う。 【協働的な学び】 ・問題の解き方や考え方を小グループや全体共有をし、多様な考え方があることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・授業進度に応じたり、各児童が苦手な問題を選択して定着を図れるようにしたりするため、種類豊富なプリントやキュビナに取り組みさせている。 【協働的な学び】 ・算数的思考を深める場面で、個人から小グループ、全体の順番で、意見の共有をし、多様な考えに触れ、自分の考えをより深めていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・つまづきの多い問題を克服できるような多様なプリントを用意したり、キュビナを活用したりして基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けていく。 【協働的な学び】 ・ペア、小グループ→全体の順番で共有し多様な考えに触れる。図形の単元などではICT機器を活用しながら、多くの考え方を表現・共有できるようにする。また、生活や学習に活かせるような協働的な学びを展開する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の中にある身近な理科について調べる活動を行い、理科が生活の中に根ざしていることに興味をもたせる。 ○めあて、実験、考察のように流れをルーティン化することによって、見通しをもたせ、自分の考えを明確化させる。 ○充実した実験から、理解を深める体験をすることによって、確実な知識・思考力を付けさせる。 ○予想や、結果をふまえての考察をグループで話し合い共有することで、価値のある対話を実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> (中学年からのスタートに向けて意識する指導の重点) ・遊びを中心とした体験を通して、試したり、工夫したり、見通ししたりする機会を多くもち、児童の気付きを深める。 ・植物のつくりや成長について簡単に押さえる。(根、茎、葉、花、実) ・季節の移り変わりについて、動植物の変化をなるべく定点でとらえさせる。 ・おもちゃづくりでは、動力(ゴム、じしゃく、風、おもりなど)との関係の気付きを取り上げ、理科とのつながりを意識して授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・ICT機器を活用しながら、植物の成長過程を記録し、視覚的に理解が深められるようにする。 【協働的な学び】 ・予想を立て、グループで実験することで協力して結果をまとめられるようにする。また、結果をもとに考察を共有し合うことで多様な考えに触れ、さらに考えを広げたり深めたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【個別最適な学び】 ・ICT機器を活用しながら生き物の成長過程を記録し、視覚的に理解を深められるようにする。 【協働的な学び】 ・学級で予想を共有し合ってから、観察や実験の計画を立てるようにしていく。 ・考察を行う時に、出た結果に対して、どうしてその結果になったのかを考察させて、科学的思考を育むようにする。

⑮-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点					
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年	
生活科	<ul style="list-style-type: none"> ○思考・判断したことが残るよう振り返りをワークシートに記入するなど、活動を工夫する。 ○教材提示では、書画カメラを活用することで、学習内容を明確にし、活動内容の見通しをもたせる。 ○見つけたことや、感じたことをペア、グループ、クラス全体などで、共有する場をもち、自分の考えを明らかにしたり、友達との考えを知ったりする機会を設ける。 ○各学年の年間計画を意識し、横断的な指導に努める。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用して、植物の成長記録を残し、ワークシートで振り返りを行うようにする。 ・ワークシートを何種類か用意し、自分にあったものを選択できるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を通して、他者と協力しながら学習に育む力を養う。 ・個で振り返りをしたあとに、グループやクラス全体での発表の場を設け、それぞれの考えを通して学びを深める。 			
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽的な見方・考え方を育むために、音楽を形作る要素を掲示したり、児童の発音と関連付けたりする。 ○表したい音楽表現ができていないかについて聴き合ったり、意見交換したりして、思考と技能が結びつく活動にする。 ○今までの学びの積み重ねを生かして学習していけるように、既習曲と比べたり関連付けたりする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカを演奏するときの指の動かし方や位置の確認をする際に、書画カメラなどのICT機器を活用することで、視覚的に捉えられるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の時間に、曲を聴いて感じたことや気付いたことを友達と伝え合い、異なる感性に触れる機会を設定する。 ・グループで話し合い、身体や楽器を使いながら音楽をつくる活動を通して、音楽的な見方や考え方を養う。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、模範演奏の動画を見せることで、演奏に慣れ親しませるようにする。 ・活動を録音、録画して振り返ることで、良さや課題を見付け、より良い表現を探究するなど、主体的に取り組めるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の時間に曲を聴いて感じたことや気付いたことを友達と伝え合い、異なる感性に触れる機会を設定する。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を読むことができない児童には、ICT機器を活用し、模範演奏の動画を見せることで、演奏に慣れ親しませるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の時間には、曲を聴いて感じたことや気付いたことを話し合い、異なる感性に触れる機会を設定する。 	
図工科	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回授業の最初にめあてを提示し、授業の最後に振り返りをする中で、見通しをもって取り組むことができるようにする。 ○共同制作や鑑賞の時間を通して価値ある対話の共有の場をもち、図工的な見方、考え方を広げたり深めたりする。 ○鑑賞活動や、基礎的な道具の扱い方の指導にICTを活用し、画像や動画で視覚的に伝わるようにする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動前の説明の際に、イラストや完成作品などを見せることで、発想を広げる。 ・教師と児童の質問形式で自分の作品のイメージしたことや工夫したことを振り返られるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動後に鑑賞の時間を設定し、子どもたちの作品の多様な発想等に気づき、考えを広げる時間をつくる。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入でテーマについて話し合うことでイメージを広げられるようにする。 ・使用する道具の使い方を書画カメラや動画で示し、理解しやすいようにする。 ・作品が完成した後に、紹介カードを書いて、工夫したところや作品への思いを振り返り、自分の作品の良さに気づけるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個で振り返りをしたあとに、クラス全体での発表の場を設け、それぞれの考えを通して学びを深める。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入でテーマについて話し合うことで想像を広げられるようにする。 ・作品の作成途中で自分の作品について友達と伝え合う活動を行い、完成に向けて発想を広げたり深めたりできるようにする。 ・使用する道具の使い方を書画カメラやスライド、動画で示し、理解しやすいようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートなどで振り返りをして、発表や作品鑑賞を通して、それぞれの考えを通して学びを深める。 	
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○一回一回の授業で完結させずに、前時の復習から本時の学習内容へとつなげ、学習の最後に振り返りを行うことで次時への課題を意識させる。 ○自分の生活や実技の振り返り等で効果的にICTを活用する。 ○家庭生活を見つめ直し、児童同士で改善点を共有し、よりよい生活とは何かを考え、深めていく。 ○制作活動や調理実習を通して、生活に必要な技能習得のため、反復練習や教え合いの時間を確保し、技能を高める。 			<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの課題を見つけた後に、自分の家庭を振り返り、課題を設定、計画、実行、振り返りの場を設定し、見通しをもって取り組めるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで課題を見付け、個に戻すと共に、課題に対してグループでさらに深めていけるような場を設定する。その際、ICTを活用し、共同編集をする中で、友達と協力したり、他者のよさを認め、自分に生かそうとする力を養う。 	
体育科	<ul style="list-style-type: none"> ○運動量確保のためには、授業の流れを教師・児童ともに把握していく必要がある。授業始めに、ホワイトボード等で1時間の流れを確認する。 ○チーム種目を行っていく際にはフェアプレーを大切に指導を行っていくことで、運動の楽しさを味わわせる。 ○体力向上のために、補助運動の充実を図る。 ○個人課題について技術ポイントを伝え合うことで、自己の思考を広げ深め、課題の解決を目指す。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の運動能力を評価し、その結果に基づいて適切な場と運動のメニューを組み立てる。ICT機器を活用し、児童の動きを動画で保存することで、児童個人の課題を明確にしていく。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の児童が協力して、課題を行う場を設定する。グループで課題に取り組み、課題に対する個人の取り組みをフィードバックすることで課題の解決を促す。ICT機器を効果的に活用し、フィードバックの際に生かしていく。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して、児童の得意や不得意などのデータを収集し、個々に合った場や作戦を選んで学ぶことができるようにする。 ・毎時間の振り返りで、学習の状況を把握、分析し、個々にあった指導を行う。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の児童が協力して、課題を行う場を設定する。シェアリングや作戦会議の時間を設けることで、多様な意見を共有できるようにする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画の活用、場の設定、学習カードの活用を取り入れることで、児童が自らの課題を意識して課題解決に向けて練習方法や場を選択することができるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて活動する中を通して、チームやグループのメンバーと課題を共有し、助言し合うことで技能の高まりや、グループでの活動の楽しさや喜びを味わうことができるような工夫を設定する。 	
外国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の最初に必ず今日の流れを説明してから始める。また授業の最後には今日習得した言葉や活動を振り返り、次時へつなげるようにする。 ○ALTや地域ごとの英語にたくさん触れ、同じ言語でいろいろな発音やイントネーションがあり、様々な話し方があることを伝える。その中で、間違っていることをおそれず自分自身の言葉で伝えようとする態度を育成したい。 ○聞き取る活動を多く取り入れ、より表現に親しみやすくし、児童が自信をもってアウトプットできるようにする。 ○外国の文化や現状を知る機会を多く取り入れることで、多様性を受け入れることのできる、国際的な感覚を身に付けさせたい。また自国のよさについても改めて考え、外国語を活用して伝えることができるように指導内容を工夫する。 ○必然性・実用性のある会話場面を設定し、児童がすすんで話しかけられるよう工夫をする。 ○定期的にリモートで外国の学校と交流をし、習熟表現を生かした会話の実践をする。 			<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎授業終わりに振り返りをして、できるようになったことや課題を明確にし、自信につなげていけるようにする。 ・語句や表現の定着を図るために、デジタル教科書を活用した練習時間を設定する。 ・各児童の能力を把握し、能力に応じたワークシートを用いて、パランスよく4つの技能の習得を目指す。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の会話によって、友達への関心を深め、やり取りを楽しむ場を設ける。 ・外国(外国人)との交流を多くし、必然性・実用性のある会話場面を設定する。 	

⑮-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
総合的な学習の時間	<p>○地域の素材を活用することにより、自然体験活動及び探究活動となるように心がける。思考を促すためには、ねらいやめあてが明確になっている必要がある。「何のための活動か」を必ず毎時間おさえ、取り組んでいく。</p> <p>○単元のゴールイメージを活動ごとに必ず児童に提示する。</p> <p>○調べ学習や発表ではICTを積極的に活用し、コンピュータを身近に感じ、生活の中で活用しようとする意識を高める。</p>		<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをどの児童もできるように、語型を提示したり、自分が書きやすいフォーマットを選択できるようにいくつか用意したりするようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換の場面では、発言だけでなくICTを活用することにより、多くの意見を書けたり、シェアできたりするので活用していく。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや図書、インタビュー等を活用した探究的な学びを通して、学んだことをスライドなどにまとめ、分かりやすく表現できるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追究した課題についてまとめたことを発表し合うことで、さらに考えを深めるとともに、友達が設定した課題についても興味をもてるようにする。
特別の教科 道徳	<p>○「第〇回道徳」と黒板に板書き、ホワイトボードに1時間の流れを示すことで、見通しをもたせながら授業を行う。</p> <p>○授業時間の中盤に主発問がくるようにし、自己を見つめる時間を十分に確保する。</p> <p>○月に一回の全校道徳では、別業を基に、全校で共通の内容項目に取り組み、家庭との連携を図る。</p> <p>○ICTを活用することで、子どもの意欲・関心を高める。</p>	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で考えられたことを、自分が書きやすいワークシートを選択して書けるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見や考え方を聞くことができるよう、ペアで話し合いの場を設ける。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りの際に、自分の考えが書きやすい書式のワークシートを選ぶ。(フォームもしくは紙面) <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな見方や考え方ができるように、ペアやグループの話し合いの場を設ける。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りの際に、自分の考えを書きやすい書式のワークシートを選ぶ。(フォームもしくは紙面) <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点や相違点を見付け、いろいろな見方や考え方ができるように、グループでの話し合いの場を設ける。
特別活動	<p>○集団づくりのまとめの時期として、学級活動(3)のキャリア教育(次年度の学年に向けた心構え)を考える機会を設ける。</p> <p>○学級会形式の定着を図り、折り合う心地よさを味わえるような声かけを行っていく。</p> <p>○学校行事(社会科見学や6年生を送る会)を活用し、めあてや見通しをもって自主的に活動できる時間を確保する。</p>	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に議題短冊の提示をし、自分の意見をもって話し合いに参加できるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を付けて発言することを習慣化することで、発言の思いを伝え合うことができるようにする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会カードを用い、自分の意見を準備することで、積極的に話し合いに参加できるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、共同編集機能を使って係活動に取り組めるようにする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用し、目標に向かって振り返りができるようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真などを共有し、振り返りに活用することで、話し合いの中での自分の姿を振り返り今後につなげられるようにする。
外国語活動	<p>○ALTとの会話やリスニング活動を多く取り入れ、聞き取ることから外国語での会話の素地を育てる。</p> <p>○歌やチャッツなどを活用し、より自然なスピードやイントネーションで話せるよう発音指導をする。</p> <p>○状況設定を具体的に行之い、実生活でも使える・使いたいと思えるような、意味のある会話活動に特化した指導を心がける。そうすることでより主体的に取り組めるようにする。</p>	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とのペアワークや、ALTの参画を積極的に取り入れ、言語活動を多く入れ、自己表現をする場に慣れ親しませる。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークによる、簡単な語句や表現を用いた言語活動を通し、友達のことを知る喜びを味わう学びにする。 	<p>【個別最適な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎授業で、できるようになったことや、初めて学んだことを振り返るようにする。 ・新しく習う表現は、映像教材を用いて示し、理解しやすいようにする。 <p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークによる言語活動を通し、友達との共通点や相違点を知ったり、英語を話す楽しさを味わったりすることができるようにする。 	